

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
上富良野町発達支援センター		令和8年 3月 23日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・利用者と部屋数は概ね適切と思うが、利用者がさらに増えると集団にするなどが必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・その時の職員体制(休暇など)に合わせ、臨機応変に対応できている。 ・概ね適切だが、夕方の時間帯の配置が若干手薄と感じることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・新施設設計時に工夫し環境配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・こどもの特性に合わせた環境の場所で支援を行っている。 ・児に合わせて会議室や相談室を使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・こどもの特性に合わせた環境の場所で支援を行っている日々の生活の中で事業やこどもたちのことなど振り返り、話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・年に一度アンケートを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・専門機関より講師を招き、職員のための研修会を実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・保護者からの意向確認を行った上で作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・児発管の他、担当職員やその他職員とも共有し検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	63%	38%	・チームでの立案を行っていないが、必要に応じて話し合いの場を設けている。 ・集団療育では相談して行っている。 ・あそびが広がるよう職員間でアイデアを出し合っている。 ・個別の担当者が立案しているが、巡回支援など他機関のアドバイスやスタッフ間でも検討できる機会があると良いと思う。 ・集団活動の時のプログラムは職員間で打ち合わせをしている。	お子さんにあったプログラムであるか、指導場面を検証し、助言が職員間でできるような行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・お子さんに合ったプログラムを取り入れられるよう、研修、専門家の助言、職員間で共有したことを参考にしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・半年に一度集団療育を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・集団療育日は行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	・全職員ではないが、場を共有した職員同士で振り返りを行っている。	職員間で定期的に打ち合わせ、振り返りができるような話し合いの場を意識して設けることができる環境を作る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・日々の指導後に記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・6ヶ月に一度見直しを行っている。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%			
25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	63%	38%	・地域ではないが、療育に関するアドバイスをいただけるよう専門である講師を招いている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	・通園児のほとんどが入園しているため行っていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・年に2回保護者向けの講話を行っている。 ・保護者向けの療育講話を実施している。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時と計画書の作成時に行う。
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・2ヶ月に一度の交流会で、話をする機会を設けている。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	88%	13%	・2ヶ月に一度交流会を行い、保護者同士の交流の場を設定している。 ・父母会や保護者会はない。	
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・早めの対応を心掛け、日程調整を行い対応している。	
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	88%	13%	・毎月通信を発行している。	
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	・発達支援に関する研修会を開催している。 ・研修を開いている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	88%	13%	・その都度保護者に児童票へ記入してもらい確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	・食事をすることはないが、情報として共有している。 ・食品を提供することがないが、児童票などに情報を記入していただいている。 ・食べ物を食べることがない。	事業所で食事の提供がある際は、再確認を行い対応する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	50%	50%	・基本的には身体拘束はない。 ・必要がある場合のみ記載する。 ・身体拘束が必要と想定されて場合にのみ個別支援計画に記載している。 ・身体拘束をすることはない。	想定される場合は個別支援計画に記載し保護者様に説明を行い共有し了承していただくことを努めていく。	